道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

「根・知・和」～こんちわ～

今年は春分の日を過ぎたあたりから、校庭の桜も開花を始めました。今はすっかり葉桜で、春が深まってきました。4月に入り、気温の変化が大きい日々が続いていますので、まずは自分自身の体調管理をしっかり行って欲しいと思います。

6日の入学式で、48名の新入生を迎え新年度がスタートしました。そして、昨日6学年が顔をそろえ、一学期の始業式を行いました。皆さん一人一人が明るく元気に過ごせる学校になるように、気持ちをリセットして行動してください。

昨年も話しましたが、『**凡事徹底**』という言葉があります。学校生活を送るうえで大いに参考になる考え方です。平凡な事でも長い期間ずっと続けていくことで自分を成長させていくことができるのです。「**繰り返しやり続けること**」が**重要**なのです。特に「**あいさつをする**」「**人の話を素直に聞く**」「**ルールを守る**」（まとめて**アヒル**）を心掛けてください。

「**こんちわ**」という言葉があります。挨拶の「こんにちは」ではありません。「**根・知・和**」の漢字の頭文字を並べた言葉です。社会人としてスタートを切るために、その土台となる言葉だと言われています。

「**根**」は、**根気強く仕事を行う**ということです。人のために働くことは本当に大変で、学生時代と違った苦勞がたくさんあります。一度やるときめたことは、簡単に投げ出さずに、やり遂げる根気が必要です。

「**知**」は、**知識を吸収する**ということです。業務を行う上で、自分の持っていないことを先輩や同僚から得る。常に広い視野を持ち、多くのことを学び続ける姿勢が大切です。

「**和**」は、**様々な人と仲良くする**ということです。まず、会社内では同僚や上司と良好な人間関係を作らなければなりません。

この「**根・知・和**」は、生徒の皆さんにも当てはまります。この言葉は少しわかりやすくして、「こんちわ精神～粘り強く、かしこく、チームワークよく～」というスローガンにしているケースも見られます。3つとも大事ですが、特に「**根**」を意識してください。昔から「**継続は力なり**」「**石の上にも三年**」という言葉もあります。また、「**凡事徹底**」という言葉も続けることの大切さを意味しています。一日一日を大切にして、**地道にコツコツ**と頑張っ
て行きましょう。

※今まで発行した校長室だより「道」は、本校のホームページに掲載していますので、ご覧ください。また、ホームページで学校の様子も発信しています。一度アクセスしてください。

※裏面に4月6日の入学式式辞の抜粋を掲載しました。ご覧ください。（↓裏面に続く）

式 辞 (抜粋)

さて、新入生の皆さん、皆さんは中学受験という試練を乗り越え、晴れて大阪学芸中等教育学校の一員となりました。そして今日、23 期生としての第 1 歩を踏み出しました。

真新しい制服に身を包んだ皆さんは、とても凛々しく輝いて見えます。一人一人胸の中には、これから始まる学校生活に「さあ、これから頑張るぞ」という大きな決意と、今までと違い、通学時間が長い、知っている友達がいないなど、新しい環境に対して「やれるかな」という多少の不安が入り交じっているものと思います。しかし、大丈夫です。先生方がいつもそばにいます。わからないときは、遠慮しないで積極的に何でも聞いてください。また、上級生たちもきっと皆さんに親切に教えてくれます。そして、これからの毎日は、皆さんにとって新鮮で、小学校時代とは違った楽しさがあることでしょう。

しかしながら、この六年間は思春期の真っ只中、人生の中で心も身体も最も伸び盛りの大切な時期です。皆さんが、この学校でしっかりと学習し、6 年後の大学進学を目標におきながら、才能を伸ばし、充実した学校生活を送っていただくよう願っています。

これからの学校生活を有意義に過ごすために、心掛けて欲しいことを二つ話したいと思います。

まず第一に、『自分と共に周りの人の「心」を大切にする』ということです。

本日、様々な小学校からお友達が入学しております。一人一人それぞれに違いがあり、良さがあります。その違いや良さをお互いに認め合い、励まし合って、素晴らしい仲間づくりをして下さい。

皆さんは、今まで友だちの思いやりや温かい言葉によって、勇気づけられたり、励まされたりした経験は誰にでもあると思います。人の気持ちが分かるようになるということは、「心」が成長している証ではないでしょうか。

中国の春秋時代の思想家、孔子という人は、弟子に「人として生涯大事にしなければならない言葉は何ですか」と聞かれ、「恕（じょ）」と答えたそうです。「心」という字と「如（ごとく）」に分けられます。「相手の心のよように」と読み取れます。さらに続けて「己の欲せざるところを、人にほどこすなかれ」と話されたそうです。自分がいやだなあと思ったことを他人にやってはいけないという意味で、思いやりの大切さを説いています。

日々の生活の中で、相手の立場や思いを考えずに、つい何気なく喋った言葉やしぐさ・行動が、相手を傷つける事があります。人の「心」は言葉や態度に表れてきます。明るく楽しい学校生活を送るためにも、今まで以上に、思いやる心、譲り合う心など、人の気持ちを考えた言葉や行動、つまり「心くばり」の姿が見えるように生活して欲しいと思います。

2 番目に、『夢や目標に向かい努力する』ということです。

学校生活で、一番大切なことは毎時間の授業に集中するということです。授業では、教科ごとに教えてくださる先生が変わります。一生懸命コツコツと勉強を積み上げていけば、大きな力となって、六年間で皆さんの身につくはずです。「継続は力なり」と言います。学力は、小さな積み重ねをどれくらい努力して実行できたかによるのです。ひたむきに努力することが、「生きる力」の基礎となり、六年後自らの進路の実現に結びつきます。

2 月に韓国の平昌で開催された冬季オリンピックで、多くの日本人選手が活躍しました。選手たちは、負けて悔しい思いをし、時にくじけそうになる自分を叱咤激励し、地道な努力を続けてきたからこそ今があるのです。

4 年前のソチオリンピックでは、国民の金メダルへの期待を一身に背負い、4 位に終わったスキージャンプの高梨沙羅選手は、今回念願のメダルを獲得しました。競技後のインタビューで「4 年前の自分に『楽しく飛べたよ』と報告した」と述べています。大きな重圧の中で努力した成果が、この言葉に結集されている素敵な言葉だと思いました。

これからは、「教えてもらう」から「自ら学ぶ」へと変わっていかねばなりません。授業でも家庭学習でも、与えられるのを待っていては前に進むことはできません。自分を甘やかさず、常に学び続ける姿勢を持ち続けてください。